



駒澤大学高校サッカー部

KOMAZAWA UNIVERSITY SENIOR HIGH SCHOOL SOCCER CLUB OFFICIAL WEBSITE
部活動の紹介とチームサポーターの親睦を図るための公式サイトです

[トップ](#)
[理念](#)
[チーム紹介](#)
[トピックス](#)
[試合予定/結果](#)
[施設紹介](#)
[リンク](#)
[チームサポーターログイン](#)
[トップ](#) > [トピックス](#) > 第93回全国高校サッカー選手権大会 準々決勝Best 8にて終了

トピックス



第93回全国高校サッカー選手権大会 準々決勝Best 8にて終了

2014/10/14

10月12日(日)

第93回全国高校サッカー選手権大会Aブロック準々決勝が行われました。
対戦相手は、東京実業を破って準々決勝に進出してきた古豪「都立三鷹高等学校」

先週行われた2回戦から1週間。
できる準備をきちっと行ってこの日を迎えました。

会場は、初めて訪れた「都立大泉高等学校」
都立高校でありながら、人工芝の立派なグラウンドでした。
ただし、周囲は民家に囲まれており、あまり大きな音をたてられない状況でした。
駒大高校のストロングポイントである、「大応援」が出来ません。
なるべく声を抑えながら、熱い声援を送る事になりました。

キックオフは14:30の第二試合。

スタッフは10:00過ぎには到着し、万全の体制です。
そして、この日に試合をする、「関東第一高校」「修徳高校」「都立三鷹高校」が陆々と集まってきました。



いよいよ準々決勝です。

第一試合の「修徳vs関東一」の試合は、非常に締まったゲームで、後半の30分過ぎまで試合は動かず、延長戦にもつれ込むかと思われた時に修徳高校に得点が入ります。さすが、2年連続で全国大会を決めている修徳高校。勝負強さが光ります。結局これが決勝点となり、1-0で修徳が関東一を破り準決勝に駒を進めました。

この結果を受けて、予定通りの14:30のキックオフとなった駒澤vs都立三鷹。
もう1つの西が丘をかけた戦い、第二試合のキックオフです。



twitter



駒澤大学高等...
@ko... · 5月21日

【2023インターハイ東京都予選
1次トーナメントブロック決勝】2023.5.21
試合終了
駒澤大学高等学校 3-0 都立豊
島高等学校
勝利を収めることができた！

セレクション・体験会のご案内

受験生の皆さまへ

NEW 2023.5.15 **更新** **NEW**

2023年度「部活動案内」が
ダウンロードできます。

以下のページよりご確認ください

[セレクション・体験会情報はこちらから](#)

OB・OG会情報

【2022.12.12更新】

2023年のOBOG会総会は
コロナウイルス感染拡大防止のため
今年度も開催を中止します。

OBOG会に関する問い合わせはこちら
komafoot.obog@gmail.com

試合結果

2023.4.15更新

※アンダーバーをクリックすると関連サイトへ。

[2023年度 関東高校サッカー大会 東京予選](#)

第3位

4月29日
4回戦 VS 修徳
0-1

※アンダーバーをクリックすると関連サイトへ。
[高田宮杯 JFA U-18 サッカーリーグ東京](#)

【T1リーグ】

4月2日 VS 堀越
2-3

【T2リーグ】 Bチーム

4月2日 VS 関東一高(B)
2-3

【T3リーグ】 Cチーム

4月2日 VS 東海大菅生
2-3

【T4リーグ】 Dチーム

4月1日 VS 都・東大和南
3-2

※アンダーバーをクリックすると関連サイトへ。
[東京都第6地区リーグU-18](#)



[【1部リーグ】Eチーム](#)

[【2部リーグB】Fチーム](#)

[【3部リーグB】Gチーム](#)

[【3部リーグC】Hチーム](#)

※アンダーバーをクリックすると関連サイトへ。

(第101回全国高校サッカー選手権大会) ベスト8

10/23 vs 東京実業 0-2
10/15 vs 早稲田大学高等学院 2-0

2022関東ルーキーリーグ--Cリーグ第3位

【最終節】9/3vs習志野高校 6-2

(全国高等学校総合体育大会)

インターハイ東京二次予選 --第3位

【準決勝】6/18vs帝京高等学校0-1
【準々決勝】6/12vs 実践高等学園3-2

(高体連主催大会 第65回)

関東 高等学校サッカー大会(B)--ベスト4

【準決勝】5/29vs佐野日本大学高等学校1-3
【1回戦】5/28vs東洋大牛久高等学校1-0

関東高校サッカー大会 東京都予選--準優勝

【決勝】5/5 vs 成立学園 0-1 (延長)
【準決勝】4/23 vs 国士館高等学校2-0

アーカイブ

- [2023年\(6\)](#)
- [2022年\(14\)](#)
- [2021年\(8\)](#)
- [2020年\(9\)](#)
- [2019年\(18\)](#)
- [2018年\(16\)](#)
- [2017年\(19\)](#)
- [2016年\(25\)](#)
- [2015年\(32\)](#)
- [2014年\(21\)](#)
- [2013年\(22\)](#)
- [2012年\(17\)](#)
- [2011年\(25\)](#)
- [2010年\(29\)](#)

携帯サイトのページ



PC版と同じURLです
[URLをメールで送る](#)

試合開始から、ペースを作るべく、素早いプレスと素早いパスで主導権を握りたいところ。入り方は、決して悪くなかったと思います。しかし、開始6分に#@山口将広が接触により鼻血を出してしまい、ゲームが中断されます。

再開されたゲームは、早々に動きます。一瞬の隙をつかれてしまい、失点。いきなりの劣勢に立たされてしまいました。

ここから、まずは1点を取り返すための戦いが始まります。

駒澤ベンチは今日は早い段階でカードを切ります。

前半23分には、右サイドの#7隠地大河に代えて#13佐藤瑛磨

前半29分に、トップ下の#@幸野高士に代えて#@竹上有祥が入り、センターバックの#4平井康介をボランチにあげて、ボランチだった#@柳澤歩をトップ下に上げます。

何とか前半に1点を返しておきたいところでしたが、三鷹の堅い守備に阻まれてゴールをあげられません。

逆にピンチも数回訪れましたが、これはセンターバック#3須藤口皓生を中心にディフェンス陣がこれ以上は失点を許さないという気迫で跳ね返し、#1GK守屋樹がゴールマウスにしっかりかぎをかけます。駒澤0-1三鷹で前半を終えます。





ハーフタイムに、ベンチ・応援共に気合いを入れ直し、後半40分に向かいます。
後半に入ると、駒澤の怒濤の猛攻が始まります。

今シーズン、駒澤最多ゴールの#9安藤丈を起点として、#8柳澤、#11山口、#13佐藤がゴールへ向かいます。

後半は、ほぼ半面でゲームが進んでいたように思います。
何度も、何度もゴールへ向かって行きました。

後半14分には、トップ下の#8柳澤を、#14野本克啓に代えて、攻撃にアクセントを加えます。

ゴール前でのセットプレーの数も多く、両サイドから#2荒井佑太、#5吉田一貴のロングスローや、何度もロゴールを演出してきた#6鈴木隆作のキックが三鷹ゴールへ襲いかかります。

しかし、ゴールが遠い…。

時間は無常にも刻一刻と過ぎていきます。

後半も半分が過ぎた頃には足をつる選手も増えてきて、試合が止まるシーンも多く見られます。
駒澤も、#4平井が負傷し、#10望月幹也が入り、これですべてのカードを使い切ります。





いよいよ後が無くなってきた後半40分。ロスタイムは5分の表示！

「まだ時間はある！」

ベンチも応援も必死に声を出し、奇跡が起こる事を信じます。

すると、ホイッスルまでのこりわずかというところでFKのチャンスを得ます。

こっぴどく決まれば延長戦に持ち込める！

だれもが手を合わせて祈ります。

キッカーはもちろん#6鈴木隆作！

右足から放たれたボールは少し低めの弾道で、誰かに当たるかと思われたが、誰にも触る事無くゴールネットに！



入った！

駒澤のすべての人が喜びを爆発させます！

劇的！と思われたこのゴール。

しかし、1人冷静にフラッグをあげていたのはラインズマン。

一度はゴールの判定をしたかと思われたレフェリーがラインズマンに歩み寄り確認…

固唾をのんでその様子を見守る駒澤関係者たち…

判定は「オフサイド」

駒澤のゴールは幻に終わりました。

もう時間も残っていません…。

万事休す…。

駒澤の戦いは幕を閉じました。

第93回全国高校サッカー選手権大会 Aブロック準々決勝

駒澤大学高等学校 0-1 都立三鷹高等学校





誰もが勝利を信じていたことでしょう。
ピッチに立つ選手も、
応援する選手も、
マネージャーも、
スタッフも、
保護者も、
そして応援に来て下さったすべての方々も…□

関東大会、インターハイと、東京都代表の栄光を掴み戦ってきた今シーズン。
そして、高校サッカー最大の大会である「選手権」
ここを目指して一生懸命やってきたのに…。
今は誰もがそんな気持ちで、これを書いている私自身がまだ整理のつかない状況です。

応援して下さいの方々には感謝申し上げます。
熱い声援をいただき本当にありがとうございました。

242名の選手達は本当によく頑張ってきたと思います。
ピッチの選手達は特に、相当なプレッシャーだったことでしょう。

勝つ者がいる陰には、必ず負けた者達があります。
勝者の喜びの陰には、敗者の涙があります。

最後まで勝つ事が出来るのはたった1チームだけなんです。

改めてその意味をわからされた気が致します。

選手権は終わってしまいましたが、今シーズンは各リーグ戦が残っています。
T1リーグはまだ優勝の可能性があります。
T4リーグも来シーズンのT3昇格を決め、まだ優勝決定戦が残っています。
地区トップリーグもグループ1位のあと、T4昇格の戦いがまだ続いています。

この悔しい思いをバネに、残りわずかとなった今シーズンを戦って行きましょう！

まだ、2014シーズンの駒澤の戦いは終わりません。

どうぞ、暖かい応援をよろしくお願い致します。

まずは、今日までのご声援に感謝し、報告を終わりとさせていただきます。

[« 第9回全国高校サッカー選手権大会 Aブロック準々決勝進出！ | T1リーグ最終節とセレクション・体験会のお知らせ！ »](#)

[トピックス一覧](#)

[ホーム](#) | [プライバシーポリシー](#) | [お問い合わせ](#) | [Q&A](#) | [サイトマップ](#)

Copyright © 2010 Komazawa University Senior High School Soccer Club. All Rights Reserved.

managed by [RCMS](#)